

第3回 小学校再編に関する地域住民説明会（北小松島小学校区） 概要

- 日 時 : 令和元年 10 月 21 日（月） 19 時開始
- 場 所 : 北小松島小学校体育館
- 参 加 者 : 34 名
- 教育委員会 : 小野寺教育長 他 8 名
（事務局）
- 内 容 : 1. 開 会
2. 教育長あいさつ
3. 教育委員会職員紹介
4. 配布資料確認
5. 説 明
① 学校再編の目的
② 学校再編の具体的方針
③ 検討プロセス
④ 今後の進め方
6. 質疑・応答（意見交換）
7. 閉 会

地域・保護者等からだされた主な意見と回答

○現在の検討で、南小松島小学校ということだが、南小松島小学校の運動会に行ったことはあるか？今保護者の方が見られている敷地がすごく狭くて、あの狭い場所に集合した場合もっと狭くなると思う。

→（回答）

今南小松島小学校が約 450 人。2030 年度の想定は 606 人だが、国で決めている基準の運動場の基準はクリアしている。南小松島小学校は過去たくさん児童数がいたので、建てる規模に関しても同規模程度で済む。そういう意味で言うと、運動場面積、敷地に関しては、基準をクリアしているという考えで、南小松島小学校へ再編ということで考えさせていただいている。

○敷地のことで、やっぱり私は不安で、駐車場はどこにするのか。地域が広がるから保護者が行事に参加するときには車で行かなければならないと思うので、そういう面で不便ではないかと思う。

→（回答）

施設整備についてはこれから検討予定だが、そういうご意見があったということはお伺いしておく。

○2点ほど聞きたい。2校、2校の4校で決められたのなら、なぜ南小に集まる人数がこれだけ多いのか。児安に1校編入すればそれなりの人数になると思うし、結局、通学距離も千代や芝田からだったら、南小に来る分とあまり変わらないと思う。3kmまでの円を出したときに、どちらかを基準にしても重なる部分になる。そこら辺が、あまりにも去年、一昨年の説明と違ってきて、2クラス以上になるためにという説明を受けたのに、1クラスのところは2校もあるというのは腑に落ちない。4校というのは、

それぞれお考えがあつてされていると思うので、それは仕方ないと思うが、編入の仕方がおかしくないか。2校で400人と700人だったら仕方がないと思うが、4校になるのに、片方はすごくマンモス校に、片方は小規模になってというのは、元のプロセスから言うと違うのかなと。それと和田島を1校残すというのはそれぞれいろいろあると思うが、防災型というときに和田島が一番津波が高い。1クラスしかないのになぜ和田島を残すのか。交通の便とかあるだろうが、新開のところに行ったら十分通学距離としては大丈夫じゃないかなと感じた。

→ (回答)

当初は2校案で考えた。南小松島小学校と新開小学校で考えていたが、資料9ページの「通学支援利用者とその割合」というところを見ていただくと、先ほど説明した1.8kmの円で描いて、その中にいない方には通学支援を行わなければならないと考えている。シミュレーションの中で、通学支援の対象者が2校案では36%。内訳を見ると、南小松島小学校は25%だが新開小学校は54%。半分以上の児童に通学支援が必要。通学支援を半分以上の児童に行う案でよいのかということから、教育委員会内で議論し、次の3校案が出た。

中学校区は小松島中学校区と小松島南中学校区で分けて考えた。2校の36%を減らすためにはどうすればよいのかということで、もう1つ学校を建てる場所を検討し、和田島小学校を単独で残し、残りの小松島南中学校区の小学校を新開小学校にまとめる組み合わせが、最も通学支援対象者が少なくなると考えた。4校案についても同様の考え方で、小松島中学校区を再編する際に、もう1つ残す場合をシミュレーションし、児安小学校を単独で残す組み合わせが、最も通学支援対象者が少なくなるとということで、今回4校案を出させてもらっている。

○芝田小学校や千代小学校を児安に持っていく案はなかったのか。

→ (回答)

それについても、通学支援対象者のシミュレーションを比較すると、南小松島小学校へ再編するほうが通学支援を対象とする児童が少なくなる。

○芝田校区は、円で見ると南小へ行くほうが遠い。児安に行くほうが近いというところが多いと思う。

→ (回答)

どこもそうだが、近いところもあれば遠いところもある。先ほどの説明のとおり、現行小学校区のまままで再編する計画でしている。小学校区の中でも、あちらの小学校のほうが近い、こちらの小学校のほうが近い、というのがあると思うが、先ほど申し上げた検討の結果、この案が最も通学支援対象者が少なくなるということで、今回の案を出している。

○学童のこととかで聞きたいことがあるが、それは二の次として、学校再編のことが決まらなければならぬので、この場では控えさせていただくが、先ほど向こうでもおっしゃったように、敷地が狭い以前に道幅がどうこうというより、朝8時にあそこの道を通ってみてください。どれだけ待たなければいけないか。雨の日など松高まで子どもを送っているが、凄いい滞になる。そこにまた200人増えるとなればどれだけ混むか。そういう交通事情も考えたうえで校門なり駐車場なりの検討はされているか。

→ (回答)

道路は、今は西側の道路と北側の道路と2つある。現状の門の位置では、西門からだけという形になっ

ている。当然、西側道路に出ると非常に交通量が多いということで、おっしゃるとおり、行くのに非常に時間がかかる。ただ、施設については新たに建てるとことも想定し、西側だけでなく北側からも進入できるようにしていくことも検討していくと考えている。しかし、施設のレイアウト等については、再編案が成案となってから、協議・設計していきたいと考えている。そういったことで解消を図っていくということをご理解いただきたい。

○「教育の公平性」と先に言われたと思うが、現在は公平ではないのかをまず伺いたい。あと、シミュレーションだが、要は学校全体でかなりの割合が通学支援となった場合に、マイクロバスを動かすのは同じ。同じなのにシミュレーションするとコストが変わるのか。2台とか3台になるということなのか。コストが生じるということで、2校案、3校案、4校案を出されているが、実際にいくらとしてシミュレーションを組み、いくら差が実際に出てくるのか。

あと、2030年を想定されているが、2040年、2050年になったときに、2030年度の児童数は想定されているが、その30年度となったときに児童数が急激に減っていることを想定されていたが、学校が再編された後の30年後も想定されたうへの再編か。順番に南小松島小学校に集める、児安小学校に集めるということになるが、30年後になると和田島の児童数というのは何人なのか。そこまでのシミュレーションをされているのか。

あともう1点、現在の保護者にアンケートを取られているが、なぜ幼稚園児や乳幼児の保護者にアンケートを取らないのか。現在小学校に行かされている児童の方が成人になって親になる世代。10年後、20年後になれば。その世代の人の保護者にアンケートを取るよりも、幼稚園児とか乳幼児。市は、乳幼児は児童手当などで把握されていると思う。そちらにアンケートをせず、現在の保護者にアンケートを取っても再編とは全く無縁。その人たちは卒業しているから。現状、無縁の人にアンケートを取ることに対し、アンケート結果に意味があるのかをお伺いしたい。

→ (回答)

まず1点目の「教育の公平性」について、現在行われている学習は、国の基準である学習指導要領に則ってそれぞれの学校でカリキュラムを組み、教育内容を決めて行われているので、公平な授業が行われているが、再編により学校数が変わる。そのことについて、従来と同じような教育が行われるのかと考えられる保護者の方もいるかと思う。再編してもそのような基準に則って授業が行われていくので、再編前と同じような教育水準が保たれる。

○9年間の一貫性ということで連携なども説明されているが、じゃあ現在は連携できていない形で、連携を取るのであれば再編もそうだが、モデル校として小中一貫とか、そういう形のもを実際にどこか作ったうえで、一貫が出来ているかを検証するなら分かるが、一貫性があるようにということだが、現在は一貫性がないように聞こえる。小学校から中学校へ行くと連携という形を取るけど、卒業した子は遊びにすれば問題ないが、出てしまえば他校の子になって、当時はこんな子だったという情報はあっても、一貫性という部分は欠如するのではないかと思うが。

→ (回答)

おっしゃる通り、先ほどのスライドでもご説明したが、小学校は小学校で、中学校は中学校で、という形でそれぞれの学校でそれぞれに行われ、接続部分に関しては、中学校に入学する際に合同で活動を行い、円滑に小学校から中学校へスライドできる工夫をしているが、なかなか9年間を見通した教育と

いう点では、小学校の先生は6年間で、中学校の先生は3年間で、とそれぞれ責任が分かれているものも、9年間という長い義務教育の期間を通して、そういう視点を持って協力を行っていききたいと目標としてはあり、新しい中学校区で出来たらと考えている。

→ (回答)

先ほど30年度のシミュレーションで、今回の基本計画は2030年度の推計人口で計画をしているが、30年後の児童数もシミュレーションとしては持っているが、現在の児童へ教育をしながらになるので、基本計画でもあるように、2030年度での再編をするということで今回させていただいている。こちらで行っているシミュレーションの人口推移に関しては、30年度、40年度と一応の推計は持っているが、実際何人になるのかが分からないものであり、あくまでも2030年度での再編ということで計画を行っている。シミュレーションとしては持っている。

○中間点という形で、30年度が、ということであれば、2030年度というところで取ったのはなぜか。2030年度の人口推計がとれば、その先の30年後も不確定要素も加味したうえで統計的なものを分析すれば、中間点、平均的なものを取っていけるはず。統計でそういうやり方があったと思うので。そこで取って、という形でなくて、30年となって、校舎を建て替えるのであれば財政支出があるわけで、そのところも不確定要素を加味したうえで経費的なものを持っていくというのが1つと思うが。シミュレーションという形をとるならば、そこまでを見たらうえでの取り方をしないと、30年度で完結という形をとってしまうと、その先のところをとらないと、建てても児童数が減って使わない校舎が発生していくという形になると、余計にコストがかかるのではないか。

→ (回答)

現在の子どもが入らない施設を建てても意味がないので、当然人口は減っていくけれども、この時点の規模で考えるということで今回させてもらっている。先ほども推計としては児童数が例えば半分になるとか、そういうものは持っているが、今の児童が学ぶ施設が当然必要なので、こういう形でしている。

○平均を取れば、学校再編の学校の割合も変わってくると思う。4校案が3校になる可能性もあるわけで、そうなるという校舎が出てくるという可能性も出てくる。平均的なものを取ったうえで再編ということにならないと。

→ (回答)

将来において児童はものすごく減っている。実際の人口に合わせて長期的な視点で学校教育を受ける場所としてどういう場所がよいのか考えなければならないと思う。それには、今回については施設の整備ということも喫緊のやらなければならない課題ということで、2030年度に再編をするということの目的には2030年度の子どもたちが入る施設を整備するということがある。第1段階、第2段階の学校については、複数の小学校が統合するという形になるので、こちらについては施設の改修ということだけでなく建て替えということも視野に入れて検討する。残りの1校については改修もしくは建て替えを検討するが、統合する学校を整備したうえで考えるということで検討している。その結果、2030年以降、10年後20年後の中で児童が減ってくるということになってくると、さらに先を見越して再編をしていく必要があると思う。ただ、今回は施設の整備も再編の1つということで考えているので、2030年度に市内の児童が学校教育を受けると考えたうえで、お示しさせていただいたのが今回の案になる。

→ (回答)

先ほどアンケートのことをお伺いした。アンケートについては先ほど申したように、小学校と就学前の施設に通われている方の保護者アンケートを行った。これは、現在通われている方がどういう考えをお持ちかということを知るためにしていることなので、意味のあることである。先ほど今後の進め方というところでアンケート調査の部分で話させてもらったが、このアンケート調査についてはそれぞれの年代で市民の皆様にご意見を伺うことにしている。そこで各年代の方がどういう考えであるのかが見えてくると考えている。

○シミュレーションの結果は出てこないか。コスト面って。スクールバスの関係で想定はしていると思うが。

→ (回答)

10 ページの左上を見ていただくと、スクールバスのコストというところで、台数、それからその横に建設費を書いているが、2校案でいうと南小松島小学校が26億9000万、新開小学校が22億1000万。その隣の委託料、ここは60年分で想定しているが、南小松島小学校が15億4000万、新開小学校が16億5000万ということで、これは昨年度に行っていたスクールバス経費が年間約1100万円となっているので、この金額でシミュレートしている。3校案4校案についても同様に試算を行っている。

○コスト面は60年間取っているが、校舎のところという法定耐用年数を経過している。そうしたらまた建て替え、新たにそこまで想定したうえでのコストか。

→ (回答)

建設のコストに関しては、比較しやすいように、全て一般的な建設単価、施設数の新築でのシミュレーションをしている。なぜ60年間なのかというと、小松島市公共施設等総合管理計画の中で、60年間使うという方針が示されており、比較しやすいよう、60年間で計算している。

○子どもの数はその間減り、スクールバスも減り、委託料も変わってくるのではないか。

→ (回答)

それについても、10年おきに必要な台数で試算している。

○この計画というのはいきなりではなく、たたき台ですね。

→ (回答)

案の段階である。今のところ、教育委員会ではこの形がいいだろうということで出させていただいている。

○当初、この統廃合の話が出る前に小学校の耐震の話があったと思う、一番最初は。表向きは耐震しているけれど、実際は耐震基準に適合していない学校とか、言えないけどという話でよく聞いているが、その中で少子化も進むし、統廃合もしたらの話だと思うが合っているか。なので、当時言っていたが、耐震工事ができている小学校が何校かあって、そこにできていない学校を、千代校だったら児安とか北校とか、本校ができていないから南校に行ったり北校へ来たり、割り振るような話が一番最初だったと思う。

→ (回答)

5校案のことをおっしゃっているのかと思うが、その5校案というのは5ページの左上、再編の経緯というところを見ていただくと、平成24年8月に「小松島市学校再編計画」の答申とあるが、このときが5校案で答申され、それで進めてきていたということになる。

○なかなかまとまらない意見をまとめていかなければならないのが行政の仕事だと思うが、先ほど言われていたように少子化の話だって、これは行政の話だと思う。子どもを増やす、増やさない、人を呼び寄せるとするのは。そういうのもあわせて、私たちは北校で育てても北校区域で住んでいるが、学校に対する愛着心ってあると思う、地域の人も。それも加味したうえで、南校の交通問題とか、クリアできるのか、絶対できないと思う。近くでも子どもを車で送り迎えしている現状で、いくらバスを回したって絶対無理だと思う。それを言っていたらきりが無いとは思いますが、そんな中で、最初の5校案とかいろいろ案を皆さんにお諮りいただいたほうが、一番いい形ができるのではないかなと思うがどうか。

→ (回答)

まず、最初の5校案のときは、将来人口が少なくなるという想定で計画を建てた。その後、国立社会保障・人口問題研究所の全国の人口の推移を見ると、小松島市の場合、児童人口減少がさらにそれよりも進むということで2018年の直近の分では、現状よりも0歳から14歳の人口が47~48%、半以下になっていると想定されている。そういった中で、当初5校くらいで360人の学校が出来るということは人口予測からすると難しいということで、今回の再編計画案に着手した。今回は総合計画を昨年、一昨年と作り、それをもとに実施計画という形でお示ししているが、担当課長が申したとおり、現段階では案であるということと、案といっても出生率が伴うので、これを遅らせたくない、予定通りに完了したいということもあり、今回お示しした。地域の皆さまに住民説明会を実施し、その後アンケートを実施する予定となっており、そちらも踏まえて最終的な判断、成案を作っていくと考えている。

○最後に一言、決はいつ頃とるのか、今年度か。

→ (回答)

進め方のところで説明させていただいているが、予定では3月末に成案したいと考えている。

○南小松島小学校が建ったときに、自分の子どもが小学校4年生や5年生でも、そちらの校舎に行かなければいけないのか。

→ (回答)

その再編校が開校のときに、全ての子どもに通っていただくように考えている。

○そのまま卒業まで、というのはだめか。小さい小学校から急に大きい小学校になったときに、自分だが、小学校から中学校になったときに人数が増えたことで凄くいじめとかが多かった。南校の人はその場で馴染んでグループが出来ているのに、そこに遠いところから歩いていくのも心配だし、あの辺は交通が不便というか、結構事故が多くてマルナカが出来たことで凄く道が危ないと思う。私も北校区域だが、歩いて南駅に行くのも20分くらいかかるし、信号も待ち時間が長くて絶対どこかの信号には引っかかるし、ニュースでも信号待ちしていても事故が起こるといことも多いし、バスは出してもらいたいが、もし自分の子どもが雨の日にあの道を歩いて行ったら心配ではないか。送り迎え出来るお母さんだったらいいが、仕事とかをしていたら、小学校になったら歩いて行ってもらえると思って保育所のと

きにずっと送り迎えしていて、急に小学校が遠くになったら、歩いていくのは不安。

→ (回答)

スクールバスに関しては、1.8 kmということで決めているが、実際にどこからどう出していくかというのは、この再編計画が決まり次第、通学部会などで検討していく。申し上げられないが、保護者の方の意見を伺いながら検討していくということで現在考えている。

○教育水準の問題になると思うが、学校歯科医とか学校医の再編成はどのように考えているか。それと、私ご縁があって養護部会に呼ばれて講演させてもらっているが、再編になって学校が減ったら縮小されてしまうのか。

→ (回答)

学校保健法の中で学校医を置くことになっているが、人数が何人と決められてはいない。歯科医ということで、小松島市内の小・中学校に関しては、原則として今は1名体制で、南中学校に関しては、旧坂野中学校、旧立江中学校からということで2名の学校歯科医がいる。再編後、学校数が減少することによってその人数も減らしてしまう、というのをご心配されていると思う。

○養護部会がやっていることとかを見てみると、折角これだけのことをしているのに、幸いなことに小松島の歯科医の先生は多いし、私も後継した側だが後継者というのが帰ってきている、ちょっとずつ。マンパワー的には、歯科医としての立場から言うと、例えば徳島市だったら大学に行ってそのまま県外に行って帰ってこなかったという方が結構いるが、幸いなことに戻ってきて、人自体は足りているのに活躍する場がないというのは凄く残念なことだと思うし、教育という面から見ても凄く不利益になるんじゃないかな、と感じている。その辺のことをお考えになられているのかなと思いきり今日来させてもらった。

→ (回答)

学校保健が充実していくというのはとても重要だと思う。現時点では、学校医や他にも内科医、眼科医、いろいろな専門の部分で何人かの方が学校の方で、お世話になっていて、人数的なバランスであるとか学校医自身の希望もある。今後のことについては、学校医のご意向も伺いながら、小・中学校の学校医のバランスも考えながら決めていくという形になろうかと思う。現時点では決まっていない。

○それはそうかと思うので、ぜひそのあたりのことはお含みおいていただいて、医師会とか、地域の医師会、歯科医師会というところにご相談される方が無難かと思うので、意見として聞いておいていただけたらと思う。

○南小松島小学校の敷地に集まって人数が増えるということで、南小松島小学校の敷地を広げるという案はないか。今の南小松島小学校の人数が多くて、交通の便も悪いし、運動場も狭いし体育館も狭いし、という状態があるのにも関わらず、また人数が増えることによって、子どもに対してそれが本当によい環境なのかという面がある。また、校区が広がることで、朝の渋滞がある。私仕事の関係で近くを通るが、あそこは凄く渋滞する。だから校区が1つになるのなら、あの周りの道は渋滞緩和に何か考えられているか。子どもが歩いていく、通学距離が長くなることは、通学路の安全支援も考えてしていただきたい。親としては子どもの安全が一番だと思うので、そこが私はよく分からなかったので教えていただ

きたい。

→ (回答)

再編する予定の現在の南小松島小学校の敷地を増やさないのかというご意見だが、小学校の南側の敷地は小松島高校の土地で、住宅も建っているということで、続きの敷地を増やすことは難しいのではないかと考えている。通学路の関係だが、現在も各小学校で通学路点検を行っており、徒歩路の拡幅する、しないというのは教育委員会では決めることができないので、通学路として考えられるところは、県道であれば県、国道だったら国、市道であれば市の担当部署へ要望を毎年行い、より良くしていこうと努力している。今後も、再編準備室より通学部会のことを申し上げたが、そちらでスクールバスの話や通学路のことも協議してよりよいものになるようにと考えている。

○単純なことから聞きたいが、まず、北小松島小学校はなくなるのか。今の話からすると、耐震性とかで北小松島小学校が残るような期待を持たされた感があって、突然の新聞発表で期待を裏切られた感があって、なくなるのか案としては。

→ (回答)

先ほどの説明のとおり、4校案では北小松島小学校は再編でなくなる。

○コストとか、いろいろおっしゃられていたけど、2校案、3校案、4校案とかあるが、この4校に限ってコストが書かれているけど、話を聞いていたら、バスのコストありきで安直につけられたような話かなと思うけど、コストを書くのであれば今の11校の位置からして、これだけコストがかかっているからここは外すというような資料があってもいいのではないかなと思ったけど。どうも最初から除けられた感があって。

→ (回答)

まず中学校区で考えたが、どこを残しどういう組み合わせにするのかというのをそれぞれでシミュレートし計算して、この案が最も通学支援を必要とする児童が少ないという案として参考に出している。それを、それぞれ書けていないのは申し訳ないが、分かりやすいように2校案、3校案、4校案を出させてもらったが、それぞれに、北小松島小学校に集めてきた場合、北小松島小学校と、例えば千代小学校を集めた場合というのは検討した。

○なくなる側としては納得できるような資料があつて、とは思う。これだけ見ていたら、北校って二重丸で書かれているので、なぜなくなるんだ、意味が分からないなど。安直に分かるような資料がまずあつてではないかなと。残るところはそんな不安はないと思う。地域のコミュニティはなくならないと思う。学校がなくなるというのは、その地域のコミュニティを1つ潰すものでないのかなと思う。僕も、この幼稚園卒業して、ここの小学校卒業して、県外に行って、ここに戻ってきたけど、それはこの校区が好きだから戻ってきた。けど、なくなるというのは分かる資料があつて、なんだかバスのコストだけなの、という感じ。なくなるもつともな理由が欲しい。それで、防災防災と書いてくれるが、有識者会議で津波のことを考えたらバイパスのほうがよいなど書いてくれるが、なんで南校なのか。バイパスに近くない。

→ (回答)

南小松島小学校の地域と新開小学校の地域については、都市計画マスタープランで施設に集めてくる

拠点の場所となっている。当然そういったことも加味して、コストだけというわけではなく、なるべく安全性が確保できる案ということで今回の形で出しているということをご理解いただきたい。

○ではこの一文は書かないほうがいいんじゃないか。バイパスの近くのほうがよいというのは。

→ (回答)

先ほども言った平成 29 年のときに、具体手順として、こういう意見を取り入れたらということで、その中にあったことを書かせていただいている。防災の先生の方にも話を聞きに行ったが、基本的には、現在の 11 小学校に関しては、どこも浸水区域になっている。それを解消するためには高台にすることであったり、盛土をするであったり、南中学校でいうと 1 階を使わないような構造にすることであったりということで、施設の整備を計画することでクリアできることである。あとは、小学校区をそのままに再編をするということなので、位置的なものということで今回の 4 校案とさせていただいている。

○高台とか今言ったけど、普通考えたら違いますよね。それは関係ない。そこにあるのは使わない？

→ (回答)

新たに土地を購入してということ自体が、今回スケジュールで出している 2030 年再編を完了するというので、4 校案にすると、ほぼ 1 年ごとにそれぞれの事業にかかっていって、やっと完成するくらいのスケジュール。今から用地交渉、しかも小学校となってくると大変広い敷地も必要になるし、それをすることが難しい。

○僕はそんなこと言ってない。想定とかそんなの言ってない。なんで自然にあるものを使わないかと言っただけ。高台とかっていうときに、ここを外す理由は何も含まれていない。耐震のこともあるし、津波で逃げやすいからっていうのも北校から起こる話の中で、もともと 5 校案のときに聞いたが、今の話からすると。

→ (回答)

当然その自然にあるものを使って災害に備えるということも 1 つある。ただそこがなければないで施設の整備にかかっていくと考えている。今回、そうした中で南小松島小学校の敷地で再編をするということで、そうした施設について先ほど申したように 1 階を中空にして 2 階、3 階というふうに高層化ということも施設の整備の中であるかと思う。5 校案のときの再編については、従来の学校敷地を使うという計画まではなかった。北校の 5 校のときに、北校の敷地を使うということで今回いただいているのであれば、そのときは現在の学校の敷地を使って整備をしていくという話ではなかったもので、そういう形でご理解いただけたらと思う。

○私個人の意見だが、新しい校舎が建つというのは、小松島市内の小学校は凄く古いところもあるということで、建つのは凄くよいことだなと個人的にはずっと思っていたが、小学校って地域との交流も盛んだと思う。そういうのも新しい学校になって、地域が広くなると、今まで身近な小学校、家から近い小学校で、その小学校で地域の人と触れ合ったりとかあったと思うが、そういうのがなくなるのも寂しいかなと思ったりもする。そういう、これから地域密着型の小学校ではなくなっていくのか。凄く寂しいなと思って。新しい校舎は賛成、凄く。そこまでは話はまだ全然いつてはないと思うが、そういうのも 1 つの意見としてどこか留めてくださったらありがたい。

→ (回答)

地域との繋がり、学校は長い歴史で地域コミュニティの中心的な役割を担ってきたものであると考えているので、地域との連携についても、今後地域の皆さまのご意見を伺いながら考えていきたいので、ご理解いただきたい。

○この会で、この資料を見て、2校案っていうのを初めてみて、2030年ってすぐ。え、あと10年で北校なくなるの、しかも南校で6校の700人があの学校に交通、車通りにくいというところに、700人となると多いと思う。結論から言うと、これって2030年にしないといけないのか、というのが私の考え。もう少し先に。1校で700人、しかも南校でというのは多過ぎるというのが私の感想。教育の質とか、そういう交通事情を考えても、やはり700人っていうのが地域のことも含めて、もう1回検討していただきたいというのが私の感想。

○通学距離の範囲で、安全に学校に通える範囲に学校があるというのをグラフにしているが、これ100%でも別に悪くない。100%を望む方って大半だと思う。それで無理なく通える範囲に学校がある、これを望む方も別に100%でいいと思う。極端なことだが、通学距離として許容できる範囲、これ通学距離が1mで嫌がる方っているのか。いないですよ。この通学支援利用者、バスの。2校案、3校案、4校案と出しているが、これを決めた基準が半径1,800m。では1,790mの方、頑張っってこいと、そういうことか。

→ (回答)

1,800mで出させていただいているもので、その詳細、通学支援がどこからどこにスクールバスを出してというのはこれからになる。その中で検討していくことになるが、目安として1,800mと示している。

○北小松島小学校から南小松島小学校まで、大人の距離かわからないが、約1.5km、徒歩にして19分。私の子が3月生まれ。小学校入学するときにあたっては、多分まだ5歳になりたて。その子に雨の日も風の日も頑張っって歩いて行ってこいとあなたは言えるか。前に座っている皆さん、5歳児に向かって雨の日も風の日も、学校に行ったのはいいい、台風で学校が休みになり帰らなければいけないと、僕にとって都合のいい距離だが、1,799mの方頑張っって歩いて帰れよと、傘1本持って頑張っってこいと皆さんは言うのか。どうして一律バスを出さないのか。1.8kmだのなんだかんだと言うのではなく、子どもの安全、子どものことを思うのであれば、出すという一択ではだめなのか。このわけのわからんグラフ作って、コストがどうのこうの、じゃあ子どもの命よりもコストのほうが大事なのか。

○じゃあ皆さん明日から頑張っって歩いて6年間、子どもたちがそれを思うわけだから、1回それを体験されてもいいと思う。皆さん、定年されてないのでここにいるので、60歳未満、65歳未満の方だと思うので、5歳の子どもからすれば10倍も年上の方、筋力にしても頭脳にしても上の方だから、その方が歩けない距離が、子どもたちには頑張っって歩けということになるが、何か僕はき違えているか。

→ (回答)

1,800mの円だが、現在も11小学校区の校区が狭いところ広いところあるが、例えば芝田小学校区であったり和田島小学校区であったりとあるが、基本的には、今通学支援をしているのは南校の路線バスの

範囲だけである。現在も歩いてきている。その基準を急に広げたのではなく、他の小学校区であれば、その距離を超えて歩いている方もいる。それが遠い、近いとおっしゃるが、今の基準としては1,800mで考えている。

○では、その距離。距離が何kmで、何kmが近くて、何kmが遠いのか。人の強さとか頑張りとかガッツとか優しさとか、いろいろな表現とかあるが、人それぞれで、人には分からない。調子の悪いときがあれば調子のよい日もあれば、楽しいときもあれば悲しいときもあるので、それを「お前1kmだから歩けるわ」「お前2kmあるけど頑張っていけ」というのは違うのではないかと。じゃあ、南小松島校区以外の子は一律マイクロバス出すとか、多少納得はできるが、でも自分が通学で、後ろから同級生が、バスに乗った友人に後ろから抜かれたらどう思うのか。笑顔で見送れるのか。たかが100m後ろに住んでいるやつがバスで行って、自分は歩いていっていると思ったら、いじめに繋がっていかないか。

→ (回答)

それ以外の方には通学支援が必要と考えている。ただ、1,800mの範囲の中でも、子どもの状況によっては徒歩では難しい場合もある。それは今後の進め方の中で、通学部会等で、保護者の方も一緒になって考えていただきたいことで、必ず1,800mの半径の中に入れて歩けということではない。そうしたことも含めて今後通学支援を検討していくということにしている。それと、子どもの体育ということで実際にスクールバスが通っている小学校に聞いたところ、学校の校門の前までスクールバスが来て、それにより体力の低下も懸念されるということで、学校から離れたところに降ろして、そこから歩いている、そういう学校もある。そうしたことも踏まえて、先ほどの通学部会で検討していきたいと考えている。1,800mだからといって全体が歩けということではないとご理解いただきたい。

○体力の低下とおっしゃったが、体力低下よりも安全に通える距離の学校が下であると、優先順位が体力の低下で、バスを出さない、というほうが上だと。

→ (回答)

安全は当然必要であり、他市町村の例として、体力も勘案しながらそうした通学支援をしているところもあるということをご紹介したところである。現状は安全安心に通うということは、保護者の方の願いだということ踏まえて、整備に関しては検討していきたいし、そうした中で他の方の意見も聞いて出来るだけ子どもたちにとって最善になるように考えていきたいと思っている。

○前回の説明会で、バス出しますと言った。でも今回来ると、この作成している地図で、さっきも言ったが、南小松島からここまでで1.5km、ここからさらに300m北に上ったところまでの範囲。ということは大半。じゃあ出さないと言っているのと変わらない。出すと書いて出さないというふうになっているのがおかしくないかと。バスを出すと言っておいて、出さないことになっているのがおかしくないかと。

→ (回答)

先ほどの説明のとおり、1,800mを超えたらスクールバス等の支援をするというのが前提だが、その範囲については当然道路は直線で学校までは向いていない。実際に歩くとなると、1,800mを超えることも考えられるので、バスを出さないということではない。1,800mを超えて登校するバスに途中の子どもたちを乗せることも考えられるので、どういうふうな枠組で通学支援ができるかということ、ま

た皆さんと検討していきたいと考えている。

○最後にお願いだ、小学校を再編する、再編すると言っているときに一番に言ったと思う。「減る算段ばかりしてこれ以上増やす努力はしないのか」と聞いたときに、それでしていくがそれより前という話があったが、そういうように減っていく現実があって小学校が再編しなければならないという話も分かるし、10年以内にはしなければならない、何何でないとならない、ならない、ならないで、人の心というのは動いていかないと思う。もちろん、なくなる方の住民のケアというのはどうなのかとか、いろいろなことを考えて進めていってほしい。デリケートな問題だと思う。通学路がどうのこうの、スクールバスがどうのこうの、いろいろなことがあって進めていく中で、統合したいというそちらのお考えと、ゆっくりしてくれっていう私たちの考えと、やはりそこが全然観点が違うと思う。なくなる側の住民の、地域の方のケアをもっと考えてほしいと思うし、もっともっと話合えるところがあるのだったら皆にも話し合っしてほしいと思うし、統合するところのPTA関係も統合したらPTAのことを地域、地域でもっともっと前から合わせてケアしていくという話もあったが、そういうところも出てこない。やはり私らだったら学童なので、学童はどうなるのだと言ったときも、場所は用意するけれどそれは事後です。それを言ってしまったら、再編できてしまったらもうそれで終わりかとなってしまふ。だからデリケートな問題なので、もっともっと人間味をもって説明をしていただきたいなと、いうのが私たちの願い。

○令和3年から8年かけて編成するっていう案だが、具体的に決まっているのか？令和3年だったら2年後から工事が始まる。

→（回答）

今想定しているスケジュールというのは、一応、南小松島小学校敷地で令和3年から令和8年としているが、令和3年、4年でどこにどう建てて、どういう物を建てるかという、所謂、設計というものをしてもらい、建設は、5年、6年、7年、8年の4年間程度でしていくという想定で、今のスケジュールをお示しさせていただいている。

○そうしたらその6年間は、南校の子は運動場を使えないのか。その間はどうするのか。

→（回答）

それもどこに仮設を建てるとか、仮設を建てないでもう建ててしまうとか、というのはまだこれからだが、当然工事車両等が入ることになるので、少し敷地が使える部分が少なくなってしまうことは当然想定をしているが、これについても実際の基本計画というか、設計をする際にどこにどう建てるかということを含めてそのときに相談していきたいというふうには考えている。

○ということは、南校に建てるというのは決まっているということ。

→（回答）

建てるというか、この再編の案が成案になったら、南小松島小学校の敷地で、改修するか建築するかも含めてだが、考えていくことになる。

○ちょっと早過ぎないか、3年と決まっているのは？

→ (回答)

先ほどもスケジュールで申したが、順調にいけばというか、これからまだ地域説明会を当然残しており、住民アンケートもこれからだが、実施の成案が3月にできたとなると、令和2年度からそれに向けて、動いていくということでは考えている。

○基本的には私は反対だが、やはり早過ぎると思うし、説明会も数回しかなかったし、それで今こういう結果になっているのを目の当たりにしてショックだが、もっともっと説明時間作ってほしい。

○北校区は説明会開きましたでなく、北校区では否定されたとしてください。

○子どもたちにもきちんと説明してほしい。今北校に通っている子どもたちに分かるように、学校がなくなると、説明して。

○いろいろお話を聞かせていただいて、私は徳島市内から2年前に越してきた。子どもが1年生に上がるときに引っ越してきた。徳島市内より小松島がよいなと思ったのは、この安全に通える距離と、小規模校というのがあったから。それに対する愛着もすごくある。もうちょっと皆が納得できるようにお話をしてもらいたい。元根井の出身だが、聞いたら残して欲しいというおじいちゃんやおばあちゃんももっといっぱいいる。保護者だけではなくて、先ほど乳幼児の方にもアンケート取るように言ったのを必ずしてほしいなと思う。もうちょっとよく考えていただきたいなと思う。よろしくお願ひします。

○支援しても結局は保護者が負担。全額市が支援するのか、それとも利用者が負担するのか、それも合わせてのアンケートを出してもらえればまた状況も変わるかと思うが、そういう状況も加味しているの。

→ (回答)

個人負担の問題のことをおっしゃられていたと思うが、それについては、通学部会で検討していく予定である。

○「いづらか負担してもらいますよ」というアンケートは取らないのか？

→ (回答)

12月に予定をしている住民のアンケートに関しては、今内容がまだ全てが決まっているのではなく、今精査しているところ。一つのご意見として伺っておきたいと思う。